

# 浅草寺の五重塔も

カナメ 製造のチタン瓦採用



五重塔から見た浅草寺境内。右手には宝蔵門のチタン屋根が見える

聖観音宗総本山浅草寺（東京都台東区）で13日、チタン製の瓦に葺き替えた五重塔が披露された。同寺では、本堂と宝蔵門もチタン瓦を採用し

五重塔の改修工事は、清水建設が受注し、2016年5月に着工、チタン瓦の製造と屋根の葺き替えは宇都宮市のカナメが担当した。チタン

材の開発は新日鉄住金が手掛けた。

五重塔は約40年前の再建。アルミ合金製の瓦にさが生じた他、東日本大震災で塔の先端にある相輪が破損したことなどから、総工費約6億円をかけて大規模な改修工事を行っていた。チタン瓦は、土瓦に比べて軽量で建物への荷重負担が減らせる他、いぶし瓦の美しさを半永久的に保ち、高い耐久性やメンテナンスが要らないなどのメリットがあるという。

13日にあった内覧会で、守山雄順理事長は「先行して葺き替えた本堂や宝蔵門の屋根は、震災を受けても剥落やずれが一枚もなかった。参拝者の安全を考えた結果、五重塔でもチタン屋根を採用することにした。価格は高いが、その価値は十分にある」と話していた。